

平成28年11月7日



各 位

会 社 名 日産東京販売ホールディングス株式会社
代 表 者 取締役社長 酒 井 信 也
(コード番号 8291 東証第一部)
問 合 せ 先 執行役員 米 澤 領 一
(TEL. 03 - 5496 - 5203)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成29年3月期 通期連結業績予想の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	136,000	3,500	3,000	2,000	30.19
今回発表予想（B）	140,000	4,500	4,000	3,500	52.78
増 減 額（B－A）	+4,000	+1,000	+1,000	+1,500	—
増 減 率（%）	+2.9%	+28.6%	+33.3%	+75.0%	—
（ご参考）前期実績 （平成28年3月期）	145,807	4,219	3,602	3,392	51.14

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間は、軽自動車の「デイズ」「デイズルークス」（OEM車）の販売停止、販売再開後のリコール等もあり、今までにない厳しい販売環境となりましたが、従来から取り組んでおります「お客さまのニーズに合わせた提案型営業による付加価値販売」等が定着した結果、営業利益が1,591百万円となるなど例年並みの業績を確保することができました。

また、本年8月24日に発売となりました「新型セレナ」、同11月2日に発売となりました「新型ノート」の受注がともに好調に推移していることから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも当初予想値を大幅に上回る見込みであります。

（注）上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上